科目名	解剖学特論(*1)	分野・必選別・単位数	専門科目	選択	1単位

担当教員	◎教授　古井　滋　　准教授　太田　樹			配当コース	医学物理士コース	科目ナンバー	T3C116
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義

授業の概要	解剖学は生体の形態と構造を研究する学問である。本講義では、医療系学問の基礎となる系統解剖学を学ぶ。
授業の到達目標	①人体の構造を三次元的に説明できる。 ②基礎である解剖名を説明できる。 ③解剖名を英語で説明できる。

授業計画	回数	担当者	行動目標
	1	古井　滋　教　授	人体部位・解剖学的な位置について説明できる。
	2	太田　樹　准教授	脳神経・脊髄・抹消神経・感覚器について説明できる。
	3	太田　樹　准教授	呼吸器（肺・気管支・胸膜・胸郭）について説明できる。
	4	太田　樹　准教授	乳房および大血管・縦隔について説明できる。
	5	太田　樹　准教授	消化管（食道・胃・十二指腸・結腸・直腸・肛門）について説明できる。
	6	太田　樹　准教授	泌尿器および生殖器について説明できる。
	7	太田　樹　准教授	内分泌および免疫について説明できる。
	8	太田　樹　准教授	頭蓋骨・錐体・体幹骨・四肢骨について説明できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	該当期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	清水勘治著　解剖学　第10版　金芳堂
参考書	藤田恒夫著　入門人体解剖学　南江堂
成績評価の方法および基準	レポート50%、授業内課題50%
その他履修上の注意事項	(*1)2020年度以降入学生のみ履修可（2019年度入学生までは15コマ2単位） 試験やレポート等に対し、講義の中で解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP1が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。